

プロトコール名 XELOX

- 進行・再発癌
 術後補助化学療法
 術前補助化学療法
 大量化学療法
 局所療法
 その他()

投与順	抗癌剤名(商品名・略号)	1日投与量	投与方法	投与時間	投与日(d1, d8等)
1	オキサリプラチン (エルプラット・L-OHP)	130mg/m ²	div	2時間	d1
2	カペシタビン(ゼローダ)	下記参照	経口	1日2回 朝夕食後	d1~14
3					
4					

1コース期間 (次コースまでの標準期間)	3週間
総コース数	可能な限り
コース間での休薬の規定	

減量規定・中止基準	・Grade3以上の骨髄抑制 ・手足症候群に関する休薬・減量の規定は下記参照
投与量の増量規定	なし
投与期間の短縮規定	なし
コースによる変化	なし
1日の中での抗癌剤投与順	なし
プレメディケーション・ポストメディケーション	プレメディケーション グラニセトロン3mg、デキサメタゾン8mg

患者条件(初回投与)

※NCI-CTCAE v3.0

- ・PS 0~2
- ・主要臓器機能が十分保たれている患者

除外規定

- ・本剤の成分や又は他の白金製剤に対し過敏症のある患者
- ・機能障害を伴う重度の感覚異常又は知覚不全のある患者
- ・妊婦又は妊娠している可能性のある患者

実施上の注意点

- ・ゼローダの投与量:体表面積1.36m²未満は1回1200mg、体表面積1.36m²以上1.66m²未満は1回1500mg、体表面積1.66m²以上1.96m²未満は1回1800mg、体表面積1.96m²以上は2100mg。1日2回朝夕食後に服用。
- ・ゼローダはテガフル・ギメラシル・オテラシルカリウム配合剤投与中及び投与中止後7日以内は投与しないこと。

その他(特記事項)

- ・エルプラットの調製時には5%糖液を使用する

・手足症候群による休薬・減量の規定

NCIによる毒性のGrade判定	治療期間中の処置	治療再開時の投与量
Grade1	休薬・減量不要	減量不要
Grade2 初回発現 2回目発現 3回目発現 4回目発現	Grade0～1に軽快するまで休薬 Grade0～1に軽快するまで休薬 Grade0～1に軽快するまで休薬 投与中止・再投与不可	減量不要 減量段階 1 減量段階 2 —
Grade3 初回発現 2回目発現 3回目発現	Grade0～1に軽快するまで休薬 Grade0～1に軽快するまで休薬 投与中止・再投与不可	減量段階 1 減量段階 2 —
Grade4 初回発現	投与中止・再投与不可 あるいは治療継続が患者にとって望ましいと判定された場合は、Grade0～1に軽快するまで投与中断	減量段階 2

・減量時のゼロダの投与量

体表面積	1回用量	
	減量段階 1	減量段階 2
1.41m ² 未満	900mg	600mg
1.42m ² 以上1.51m ² 未満	1200mg	
1.51m ² 以上1.81m ² 未満		900mg
1.81m ² 以上2.11m ² 未満	1500mg	1200mg
2.11m ² 以上		